



Subaru

ニュース750

'20.11.30

男声合唱団

# 「昴」「11月全員レッスン」開催！厳しいコロナウイルス第3波の現状、昴レッスンの継続と13コンサートをどうするか！？

11月29日



□ 11月29日(日)13:30~16:30 11月度最後の「全員レッスン」を「大東市立生涯学習センターアクロス」(4F 多目的ホール)をお借りして、開催しました。

当日は、連日のコロナウイルス感染状況(19日以降300人台・28日463人)の急速な増加の報道等が影響してか?本人やご家族に基礎疾患のある団員や慎重を期された団員はレッスンを自重されたこともあり、参加者は全21名(団員19名 T1:7名、T2:4名、BR:6名、BS:2名)でした。ピアノ伴奏は森二さん。

□ レッソンは「13回コンサート」のプログラムに沿って、第1部(8曲)と第3部(8曲)およびアンコール曲2曲の全18曲を「通し(とおし)」で合唱し、その出来具合をチェックしていきました。

まず、奥村さんの体操・千秋さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で、オープニング曲「日々草」を繰り返し歌いました。全国のうたごえ祭典でも入賞した昴の十八番、久しぶりに美しい「日々草」のハーモニーを合わせました。

2曲目と3曲目、フォスターの「草競馬」「懐かしのケンタッキーの我が家」

今レッスンで一番苦労している「草競馬」:楽譜で各パートがそれぞれ、遅れないで合わせるリズム取り、途

中の転調での正しい音程の確保。

「懐かしのケンタッキー」では、最初の7小節までの「Hum」ハミング、最終章の59小節からの「O-」ハミングをぴったりと合わせる、強弱の変化等に気をつける・・・

続けて、ロシア民謡3曲「白樺」「道」「母なるヴォルガを下りて」をそれぞれ1回ずつ歌い通しました。合計6曲を歌い終わり、集中力の養成が必要で、相当疲れました。



□ここで15分の休憩・換気通風を行いました。

休憩中の後半に、山本副団長から、この間の大阪のコロナウイルス感染状況と鼻の活動のあり方について、報告とともに出席メンバーへの問いかけがありました。(どうしたらよいか?)

休憩後、伊藤副指揮者の指揮で「U Boji」と「歓びのナーダム」をレッスンしました。

「U Boji」では、出だし2番の歌詞を覚えることで、楽譜を読みながら、何度も復唱してリズムと発音のレッスンを行いました。

□再度、休憩・部屋の通風を行い、久しぶりにレッスンに参加されたBR 清水さんから、逝去された三谷さんとの50年あまりの長きに亘るお付き合い、現役時代の職場、第一合唱団等うたごえ運動での交流等親しき友を失われた気持ちを述べられました。

□再開後、引き続き、伊藤副指揮者の指揮で、第3部曲「見上げてごらん夜の星を」「朝露」「ゆらゆら春を」「死んだ男の残したものは」の4曲を通しました。

「ゆらゆら春を」では、言葉の子音・母音をはっきりとわかるようにしっかり出す。

「死んだ男」では、28小節「はかいしひとつ」の「とー」のmfz、50小節「きものいちまい」の「ま」mfz、70小節「へいわひとつ」の「とー」のfz、90小節「ほかにはだれーも」の「れー」のfz、110小節「ほかにはなにーも」の「にー」のmfzの表現の仕方、声の出し方に注意!

□再度、休憩・部屋の通風を行い、この間、千秋さんの創作曲「共に歩もう」(2020.11.2作)を歌唱指導・合唱しました。

□再開後、本並先生の指揮で、第3部後半の「方正の青い空」「地雷ではなく花をください」「鼻はうたう」「このみち」の4曲をレッスンしました。

「方正」「昴はうたう」「ゆらゆら春」は多少の楽譜の変更がありますので、最新版（「2020年11月20日更新」）を配布しています。確認の上、全員の手元に新しい楽譜が届きますように、各パートでパートマネージャさんは気をつけて下さい。

□最後に、アンコール曲「six pence」「昴」の2曲を歌って終わりました。

### （連絡事項）

#### （1）昴運営委員会（臨時）開催のご連絡

昴 運営委員 各位

団長 千秋昌弘

全国的にもそうですが、大阪府域においても新型コロナの感染者の急増が続いています。

3月・4月の第1波の5倍近い感染者が報告されている中で、大阪市内に集まって練習するという状況を、改めて見直す時期が来たと考えています。また関連して、来年のコンサート開催に関わる諸状況を整理しなければなりません

については、臨時の運営委員会を下記のとおり開催します。運営委員の方々にご参集ください。なお、参加については感染防止対策をしっかりと行っていただくようお願いします。参加に不安のある方は、その旨ご連絡ください。

記

臨時運営委員会

日時： 2020年12月11日(金) 18:00～

於： ねむかホール

#### （参考意見）

##### □各位

新型コロナウイルス感染者増加の進行に対して、昴のレッスンを見合わせるかどうかの議論が出始めています。

万一感染した場合、ご自身やご家族に重症化するリスクが高いメンバーには、自主的にレッスンを休んでいただきながら、昴レッスンは継続していくとした場合、参加可能なメンバーが何人おられるか、これを見極めることが必要になると思います。

また、昴の定例レッスン実施を中断するかどうか？ に加えて、13回コンの再延期実施予定を予定通りに進めるのかどうか、或いは、新たな再々延期も考えるのか？ これをも同時に検討することが必要ではないでしょうか？

豊中市立文化芸術センター施設使用取り消し規定によると、6ヶ月前までに使用取り消しを申し出た場合は、既納利用料金の8割が還付されますが、それ以後の使用取り消しでは既納利用料金の5割しか還付されません。（1ヶ月前を過ぎれば還付無しです）

12月の運営委員会は20日の予定。

12月20日は、豊中文芸センター大ホールを借りる6月20日のちょうど6ヶ月前です。

吉田さん、既納の利用料金はいくらでしょうか？

還付には、使用承認取り消し申し出に関して、管理者側が「相当の事由があると認めたとき」のみ、還付されるとのこと、「コロナ感染拡大」がその相当の事由となりますでしょうか？ なってくれると見込みたいところです。

「昴」13回コンを、豊中文化芸術センター大ホールでの6月20日実施とするかどうか、

**20日の運営委員会にて判断するのは、既納利用料金8割還付に間に合わない可能性あり。**

12/20の運営委員会待ちではなく、その前に臨時の運営委員会を開くか、或いは別の方法で

（例えばメールでの持ち回り運営委員会？）など、より早い時期に判断する必要があると

思います。／伊藤

□こんにちは。

お問い合わせの件、ご連絡いたします。 豊中芸文ホールの予約金は¥95,220です。

なお、使用する6ヶ月前までの使用取り消しは既納の使用料金の8割返金

使用する日の1ヶ月前までの取り消しは既納料金の5割りの返金

使用する1週間前までの取り消しは還付なし。

還付の流れは事前連絡(電話)→来館し還付請求書の記入→還付金の受領。

※注意が必要なことは、還付率は還付請求書の記入日から算出される。

来館にて還付請求書を記入の際は「使用承認書」(吉田が保管)「印鑑」(更家さん)が必要となる。  
よって、6/20に実施不可能の決定は12月14日には結論を導く事が必要と思います。(吉田)

□運営委員会 各位

12月から一時的にレッスンを休止とした場合、その中止期間が1月までとなったとしても、2月頃からレッスンが再開できるなら、6/20のコンサート開催には間に合うようになるのでは、と思います。

休止期間中の自宅練習を促すことが前提です。

13回コン予定日頃に、Covid-19の感染拡大が収まらずに開催不可となった場合、5月中旬(5割返金の1ヶ月前まで)に判断すれば、47610円は還付される、ということになりますね(半額の47610円は戻ってこないですが)。

レッスンを継続するとした場合でもレッスン参加を見合わすメンバーがどのくらいおられるのか、を11/29の大東アクロスでのレッスン時に、確かめてみたいです。凡その予想はつきませんが。

臨時の運営委員会を開催して、皆様のご意見を伺いたいです。/伊藤

□千秋団長 様

昨日の運営委員の皆さんへの問いかけに対して、伊藤さんから返事をいただき、今日、立川さんから電話を頂きました。

立川さんからは、伊藤さんの提案の方向に沿って、

・ただちに活動を中止するのではなく、12月の運営委員会でしっかり議論し、方向を定めよう

・ただし、その間の練習等への参加については、各人で判断し、懸念をお持ちの方は、自主的に控えていただくようしっかり伝える

とのご意見をいただき、岡邑さんからも同意を頂いているとのことでした。(山本)

□山本様

臨時運営委員会の連絡有り難うございます。

最終的な決定はその時でいいと思いますが、特にレッスンの継続の可否について団員全体の意向を、29日のレッスン時に確認してもらえればと思っています。

レッスン出席は個人の判断でということも可能ですが、もし感染すれば個人の責任ということになってしまいます。現状でも分割レッスンで満足なものではないし、この状況であえて継続するメリットがあるかということ。またピアニストや指揮者は個人の判断で欠席できないということも考慮する必要があります。

私個人的には、コンサートまで若干ゆとりもあるし、特に年末年始は社会的にも家庭的にも重要な時期であり、安心して過ごしてもらえるためにも中断、出来れば早めに決定してもらえるといいなと思います。みなさんの意見を聞いてみたいです。ただの感想です。よろしく。川妻

□11月に入り、大阪府は、11月10日から200人台、11月19日から300人台、21日・22日・28日の土・日には400人を超えるコロナウイルス感染者を出し、中高年者の感染数も連日40から50人台と多く、重症者の収容ベッド・病院の収容能力もかなり厳しい状況にあると、連日テレビや新聞で報道されています。

ねむかホール等での昴の合唱活動も、感染者を出さずに万全の対策を立てて続行するためにはどうすればよいか?2021年6月実施予定の「13回コンサート」をどうするか?当面の12月・1月をどう乗り切るか?

団員のいろんな考え・意見を交わして、昴の方針を出し、この厳しい局面を「克服」したい・・

そのような思いを込めて、12月11日(金)運営委員会を開催できればと思います。(編集子)